

社会福祉コーナー

子供の集いの場

「あさがおサロン」を開設して

文京町 橋本 久美子

昨年六月に社協中央支部の森川さんから、一人親世帯の子供の居場所を作りたい！とのご提案が、私をはじめ中央二丁目竹中さん、桜町四丁目石川さん、新井さんに声かけられ、後期高齢者の四人で何が出来たのか暗中模索の中でスタートしました。

そして今年の六月までの一年間、何度も話し合い勉強会を重ね、その間森川さんのご指導・ご支援を受けながら、時には「子育て親としての意見」や「六中地区子育て応援の会」への実態見学、また赤十字子供安全法短期講習会の受講、傷害保険の加入と安全面にも万全の体制をとり、ゼロからのスタートの中で準備を行ってきました。

この間、準備資金を作るための方策として、NPO法人スポーツ支援センターや社協本部職員及び地域の方々のご協力を得て、子供服の寄付を沢山頂き、昨年度の「公民館まつ

り」にて「子供服おさがり市」バザーを出店し少額ながら準備資金を得ることが出来ました。

そして、今年七月六日に「一中地区子育て世帯を応援する会」を正式名称として立ち上げました。

まず活動の一番目として、夏休み期間中に週二回（火・金）、子供の集いの場「あさがおサロン」の開設を決めました。

スタッフを集めるために、社協中央支部の森川さんが、民生委員・児童委員の方々や、近隣の土浦一高、つくば国際大学、アール医療専門学校へボランティア活動としてのご協力を働きかけてくださり、幸いに大人八名と学生さん約四十名の方々が活動に協力して頂くこととなり、同時に、土浦小学校に希望者の募集を依頼し快く承諾を頂くこともでき、想像以上の七十四名の応募を頂き、ついに七月二十三日にスタート致しました。

初日は、なんと三十名の子供達が来館し予想外でした。その後も寄付して頂いた、ゲーム遊び・トランプ・レゴ・折り紙・オセロなどで仲良く遊んでおり、学生ボランティアの好意で宿題やお習字教室も行い、更に三回・五回・七回と節目にはプ

レゼント、又寄付金で購入したお菓子や寄付されたキュウリ、スイカ等おやつも出すことが出来ました。

期間中、対応して頂いたスタッフ及び学生ボランティアの皆さんが子供達に好意的に接する姿にも感謝です。

そして何よりも嬉しかったのは、親御さんから「こうした場を設けて頂き有り難く助かりました」との声を頂いたことであり嬉しい限りでした。

昨今、このような機会が少なくなり「あさがおサロン」を開設し本当に良かったと感じています。



「亀城」アンケート

いつも「亀城」を「ご愛読頂きまして有り難うございます。

もつと皆様に楽しんで読んで頂けますよう、皆様の声を誌面に反映させたく、左の二次元コードよりアンケートへのご回答をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

質問は4項目で回答時間は5分程度です。どうぞよろしくお願い致します。

